



tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第75期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第75期の報告書をお届けいたします。

第75期は、当社が認定放送持株会社に移行し、新たな経営計画「デジタル5ビジョン2ndステージ」をキックオフした節目の年です。無線通信の高速化、情報端末の高機能化により、日本の消費者がメディアやコンテンツに触れる機会は多様化しており、この傾向は今後も続く予測されます。こうした事態に対処するため、当計画では、放送というこれまでの領域だけにとどまらないしなやかな企業への進化を目指しております。

まず、当社は本業である地上波放送と、BS放送、CS放送の3波を中核事業と位置付け、この領域では常にトップグループであり続けられる競争力を保持していくことを謳っております。同時に、成長事業に位置付けた「インターネット」では「集客力の高い独自のネットメディア」を構築し、インターネット上でも視聴者・消費者に求められる存在になることを目指しております。また、もう一つの成長事業として位置付けた「メディアシティ」では、六本木に集積した当社の情報発信機能とコンテンツ力を最大限活かし、ライブでしか味わえない豊かな体験をお届けしていくことを謳っております。

当期は中核事業におきまして、地上波の年度平均視聴率で全日帯(6～24時)、ゴールデン帯(19～22時)、プライム帯(19～23時)ともに2位を確保いたしました。このポジションに甘んじることなく、第76期はさらなる競争力強化を目指してまいります。

「インターネット」では、アイドル・プロレス・釣りなど、特定のテーマに特化したコアファン向けのポータルサイトを立ち上げ、動画・画像・テキスト記事など多様なコンテ

ンツを配信し始めました。また、こうした自社内での取り組みとは別に、(株)サイバーエージェントとともに動画配信プラットフォームを立ち上げ、その上でニュースを配信するチャンネルをまずは共同運営することで基本合意し、そのための合併会社2社を立ち上げました。詳細は準備中ですが、両社の強みを持ち寄った魅力的なサービスを目指してまいります。

「メディアシティ」では、昨年夏に大型イベント「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」を初めて開催し、延べ445万人を動員しました。第76期は、さらにパワーアップした夏祭りを皆様にお届けいたします。

これらの取り組みを通じて、開局60周年を迎える第79期には「日本でトップグループのコンテンツ総合企業」に成長できるよう、今後もグループ一丸となって邁進してまいり所存です。株主の皆様におかれましては変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役会長兼CEO

早河 洋



代表取締役社長

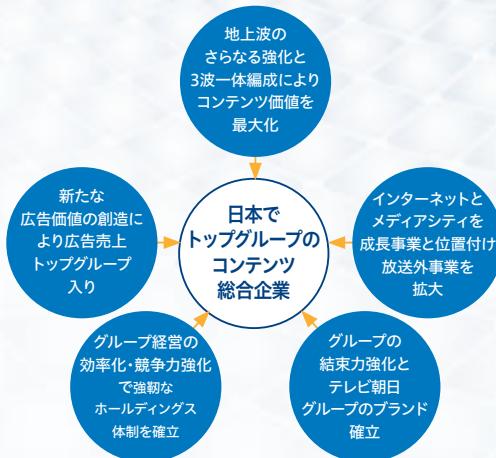
吉田 慎一

当社グループは、現在、2014年度からテレビ朝日が開局60周年を迎える2018年度までの5ヶ年にわたる経営計画「デジタル5ビジョン2ndステージ」を推進しております。今後のテレビを取り巻く環境変化に対応し、当社グループが勝ち残るため、地上波・BS・CSの3波を中核事業、インターネットとメディアシティを成長事業と位置付け、中核事業で勝ち続けること、成長事業により放送外事業を拡大することを「5メディア戦略」として掲げております。

2014年4月に移行した認定放送持株会社体制のもと、この「5メディア戦略」を具体化し、2018年度までに「日本でトップグループのコンテンツ総合企業」となるため、5つの戦略目標を掲げております。

- **中核事業**: 2018年度までに地上波視聴率4冠を目指すとともに、BS・CSとの有機的な連携により、コンテンツ価値の最大化を図ります。また、広告売上でもトップグループ入りを果たすため、3波(地上波・BS・CS)の広告収入で2,250億円を目指します。
- **成長事業**: インターネットでは、集客力の高い独自のネットメディア構築を目指します。また、メディアシティでは、六本木ヒルズ及び本社周辺エリアにおいて、当社ならではの様々なイベントを展開し、放送外事業の拡大を図ります。
- さらに、**強靱なホールディングス体制を確立**するため、グループ経営の効率化や競争力の強化、グループの結束力強化、テレビ朝日グループのブランド確立なども推進してまいります。

5つの戦略目標



2ndステージを支える「認定放送持株会社」体制 (平成27年3月31日現在)



※ □ は連結子会社 □ は持分法適用関連会社

なお、(株)テレビ朝日、(株)ビーエス朝日、(株)シーエス・ワンテンは、(株)テレビ朝日ホールディングスの100%子会社です。

コーポレートガバナンス

1.コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社では、民間放送局を傘下にもつ認定放送持株会社として、様々なステークホルダーと適正な関係を保ちながら、適切・公正な手法により利潤を追求するなかで、共通の理念を持つ人材の育成と確保、ステークホルダーとの信頼関係の保持、放送局・報道機関としての使命の全うとともに、これらを前提とした社会のニーズに適うコンテンツを制作・発信し続けることで企業価値を高めております。

このため、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すことのできる態勢の構築と、その活用が当社コーポレートガバナンスの基本であると考えております。

2.監査等委員会設置会社への移行

放送事業者を傘下にもつ認定放送持株会社として公共性・公益性の堅持を前提としたうえで、当社グループの企業価値ひいては、株主をはじめとするステークホルダーの利益の長期安定的な向上には、取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員を取締役会の構成員とし、業務の執行と適正な監視体制を両立する『監査等委員会設置会社』が、会社法下で取りうる機関設計として最も望ましいと考え、第75回定時株主総会で、定款変更を皆様におかりいたしました。



3.取締役会の構成・機能

また、同株主総会では常勤の業務執行を担当する取締役に加え、資本・経営戦略上のパートナー、放送事業に一定の関係を持ち放送事業に対する豊富な経験および知見を有する者、およびステークホルダーとの公正・妥当な関係を客観的に監視でき当社経営陣からは独立した立場である者といった多様な者が取締役会メンバーを構成することが望ましいとの考え方から、これに適う候補者の方々をご選任いただきました。

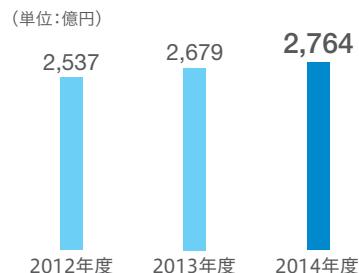
(裏表紙「役員」欄をご参照ください。)

過去最高売上高を更新

売上高

2,764 億円

(前期比 3.2% 増)



営業利益

151 億円

(前期比 14.7% 減)



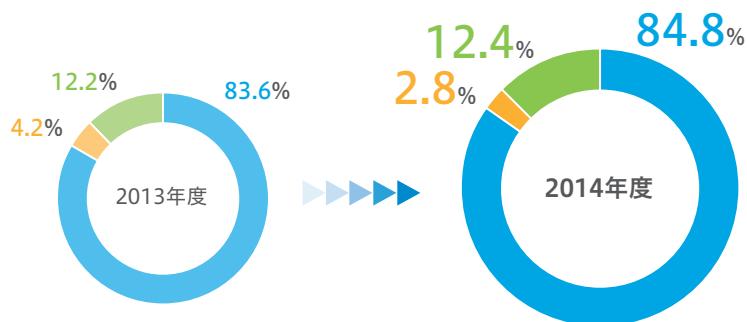
事業別
売上高
構成比

- テレビ放送事業
- 音楽出版事業
- その他事業

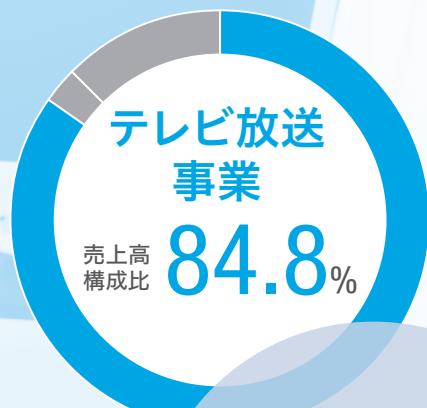
セグメント変更のお知らせ

● 当期よりセグメント区分を見直し、従来「その他事業」に区分しておりました連結子会社の株式会社テレビ朝日が行うCS事業を、「テレビ放送事業」に区分することいたしました。2013年度につきましても、変更後のセグメント区分に組み替えて表示しております。2012年度につきましては、従来のセグメント区分のままの数値を表示しております。

● 事業別売上高、営業利益、売上高構成比はセグメント間取引など調整前のものです。



事業別活動報告



「ドクターX ～外科医・
大門未知子～」
2014年10月～12月放送



相棒 season13
2014年10月～2015年3月放送

売上高

2,441 億円

(前期比 4.9% 増)

営業利益

131 億円

(前期比 12.9% 減)

2014年度の視聴率は、全日7.1%、ゴールデン10.9%、プライム11.3%でいずれも2位となりました。プライム2は7.3%で10年連続のトップを獲得しました。

期末期首、年末年始、スポーツ特番などに加え、「ここがポイント!!池上彰解説塾」など、改編ごとにレギュラー編成のベースアップに成功しました。ほかにも、初開催の「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」の期間中に放送した「とんねるずのスポーツ王は俺だ!!夏決戦スペシャル」などが好評を博しました。

また、連続ドラマでは、「相棒」や2014年の連続ドラマで年間1位となる平均視聴率22.9%を記録した木曜ドラマ「ドクターX ～外科医・大門未知子～」などが安定した高視聴率を獲得しました。

スポーツでは、4大会連続での日本戦の中継となった「2014FIFAワールドカップブラジル 日本×コロンビア」が37.4%の高視聴率を獲得。また、フィギュアスケートでは「グランプリファイナル 男子ショート」が16.8%を記録するなど、高い注目を集めました。

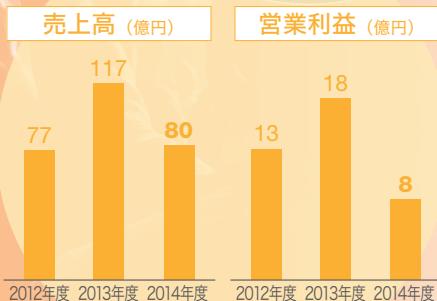
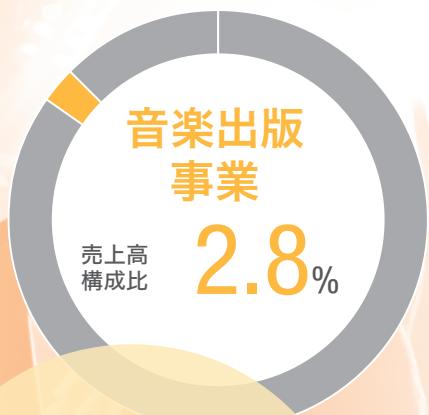
報道情報番組では、「報道ステーション」が年度平均視聴率12.4%を獲得。また、「スーパー」チャンネルは年度平均視聴率8.2%を獲得するなど、安定した結果を残しました。

このような視聴率を背景に、営業活動も積極的に展開いたしました。

タイム収入は、「ここがポイント!!池上彰解説塾」や木曜ドラマなどのレギュラー番組で単価の上昇を図るとともに、「2014FIFAワールドカップブラジル」や「AFCアジアカップ2015」などの単発番組も牽引し、増収となりました。

スポット収入は、第3四半期までは、市況が好調に推移し、単価の上昇を図ることができましたが、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動などにより第4四半期が大幅な減収となり、通期では減収となりました。

その結果、広告収入は減収となりましたが、(株)ビーエス朝日の連結子会社化の影響などにより、テレビ放送事業は増収となりました。一方、「2014FIFAワールドカップブラジル」などにより制作費が増加したことなどから、減益となりました。



「ここがポイント!!池上彰解説塾」
2014年4月～2015年3月放送
2015年4月より、土曜よる7時54分に移動し「池上彰のニュースそうだったのか!!」を放送中。



「フィギュアスケート グランプリファイナル バルセロナ」
2014年12月放送

売上高

80 億円

(前期比 31.0% 減)

営業利益

8 億円

(前期比 52.1% 減)

2014年度は、所属する3大アーティストのうち「ソナーポケット」が、デビュー5周年を記念した全国ツアー『ソナポケイズム』JAPAN TOUR ～5th Anniv. SP～』を開催し、好評を博しました。

また、「ケツメイシ」は、夏に約1年7ヶ月ぶりとなるアルバム『KETSUNOPOLIS9』を発売しました。

さらに2014年の11月から12月にかけては、「湘南乃風」と「ソナーポケット」がアリーナツアーを開催するなど、音楽出版事業も数々の積極的な取り組みをおこないました。

しかしながら、前期に全国各地で開催した「ケツメイシ」「湘南乃風」「ソナーポケット」のコンサートツアーの反動などにより、減収減益となりました。



「ケツメイシ」アルバム『KETSUNOPOLIS 9』

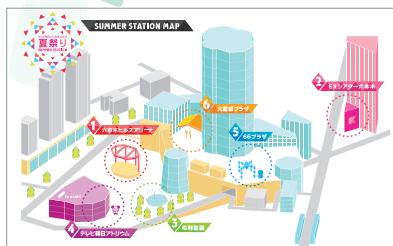


「湘南乃風」アリーナツアー

事業別活動報告



©2014「STAND BY ME
ドラえもん」製作委員会



「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」

売上高

355 億円

(前期比 5.0% 増)

営業利益

11 億円

(前期比 22.2% 増)

2014年度の「その他事業」は、以下のような取り組みにより増収増益となりました。

- **出資映画** 「STAND BY ME ドラえもん」が興行収入83億8千万円の大ヒットとなり、出資映画の過去最高を記録するとともに、日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞を受賞しました。また、「クレヨンしんちゃん」などの恒例作品や、「相棒－劇場版Ⅲ－」なども好評を博しました。
- **イベント** 初開催となる大型イベント「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」が好評を博したほか、恒例の大型音楽イベント「テレビ朝日ドリームフェスティバル2014」などを開催しました。また、「EXシアター六本木」では、番組と連動した「ガムシャラJ's Party!!」をはじめ、様々なイベントを開催。高い稼働率を誇っています。

- **インターネット** 他社の動画配信サービスに向けてアニメやドラマを積極的に展開したほか、コアファン向けのポータルサイトを続々と展開しました。また、KDDI(株)、(株)朝日新聞社との共同事業「auヘッドライン」は、デザインを一新するとともに、新規コンテンツを投入し、順調に訪問者数を伸ばしました。

- **ショッピング** 消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動がありました。消費者のニーズにマッチした商材の投入をおこない、回復の兆しを見せています。

コアファン向けポータルサイト 続々展開中!

「デジタル5ビジョン2ndステージ」では、インターネットを成長事業と位置付けております。集客力の高い独自のネットメディアの構築を目指し、2014年12月より、特定のテーマに特化したコアファン向けのサイトを続々スタートさせています。これらサイトの相互連携により、高い集客力を獲得することを目指しています。

新日本プロレスファン向けポータルサイト

「新日本プロレスワールド」



コアファン向けポータルサイト第一弾(2014年12月リリース)。新日本プロレスのLIVE映像やオリジナル動画、過去45年間にわたる膨大なアーカイブ動画が月額999円で見放題に。プロレス関連記事なども盛りだくさんで、会員数はすでに2万人を突破しています。

URL <http://njpwworld.com/>

アイドルや女性アーティストなど“girl”に特化したポータルサイト

「LoGiRL (ログガール)」



ガールズをコンセプトにしたポータルサイト(2015年1月リリース)。平日夜(19~23時)に最大4時間の生配信をおこなっており、多くのPV(ページビュー)数を獲得しています。

URL <http://logirl.favclip.com/>

演劇情報ポータルサイト

「THEATERCLIP. (シアタークリップ)」



演劇やシアター情報の専門ポータルサイト(2015年1月リリース)。演劇関連動画や演劇の公演スケジュール情報などを提供します。自社イベントや当社の“EXシアター六本木”とも連携します。

URL <http://theater.favclip.com/>

釣り好きのためのポータルサイト

「BITE (バイト)」



釣りファン、釣りに興味を持つ人に向けたポータルサイト(2015年3月リリース)。有名釣り師の動画や釣り雑誌ライターのコラムなどで構成される、これまでにないコンセプトの釣りサイト。今後はサイト発の商品化なども検討していきます。

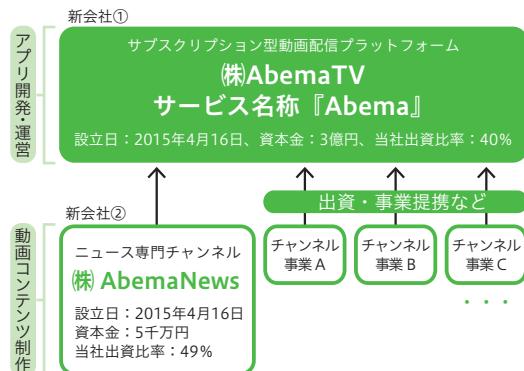
URL <http://bite.favclip.com/>

サイバーエージェントと2つの新会社を設立

インターネットのさらなる取り組みとして、2015年4月に、(株)サイバーエージェントとの共同出資により2つの新会社「(株)AbemaTV(アベマティーヴィー)」と「(株)AbemaNews(アベマニュース)」を設立しました。

「AbemaTV」では、スマートフォンやタブレット向けの定額制動画配信サービスの開発・運営をおこないます。様々な専門チャンネルを有する動画配信プラットフォームを展開していく予定です。

また「AbemaNews」は、この動画配信プラットフォームに提供するニュースコンテンツの企画制作をおこないます。サイバーエージェントのスマートフォンサービスの運営実績と、当社のコンテンツ制作のノウハウを活用して、新しいニュースコンテンツを提供してまいります。



「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」

7月18日～8月23日の期間で今年も開催決定！

「デジタル5ビジョン2ndステージ」のもう一つの成長事業“メディアシティ”の取り組みとして、「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」をスタートさせました。2014年度は開催初年度ながら、445万人もの方々にご来場いただきました。その夏祭りが、さらにバージョンアップして、7月18日～8月23日の期間で今年も開催されることが決定いたしました。

今年の夏祭りは、体験型スポーツエリアを新設するなど開催エリアを拡大します。また、パワーアップした大型イベントを多数企画するほか、EXシアター六本木との連携や、夏祭りと連動した特別編成や大型特番なども予定しております。

企画の詳細は、今後リリースしてまいります。今年の夏も皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

みんなに、来てほしいブイ!!



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK





コアファン向け「ポータルサイト」事業の取り組みの一つとして、今年の3月に、釣りファン向けのポータルサイト「BITE(バイト)」をスタートさせました。

釣果情報や潮汐情報、釣り場情報などを提供するこれまでの“釣りサイト”とは一線を画し、釣り雑誌などで活躍する有名釣り師の動画コンテンツや、釣りライターのコラムなど、付加価値の高いコンテンツが満載で、エンターテインメント性の高い、日本一の釣りポータルサイトとしていくことを目指しています。

また、今後はアウトドア雑誌とのコラボ企画や、釣り具メーカーとの商品開発など、「BITE」発の新しい取り組みもいろいろと仕掛けていきたいと考えています。

談

集客力のある、独自のネットメディアを構築するため、昨年、ポータルサイト事業をスタートさせました。基本コンセプトは、コアファン向けのサイトをいくつも立ち上げ、それらを繋ぎ合わせていくことで、総合ポータルのようなものを作っていこうというものでした。

まったく初めての取り組みで、不安も多くありましたが、好きなこと・自分が表現したいことを仕事にできるチャンスだと思い、自分の趣味・ライフワークでもある“釣り”に関するサイトを立ち上げようと考えました。

サイト立ち上げのために市場調査をしてみると、釣り人口は2000年頃のピーク時からは落ち込んでいるものの、ここ数年は安定しており、毎年おこなわれる釣りイベントの中には10万人を超える来場者を集めるものがあることが分かりました。また、釣り業界全般に浸透しているインターネットメディアはまだなく、先行者メリットがあるということも分かりました。

釣りサイトに可能性を感じ、企画を提案し、サイトを立ち上げることが正式に決まってからは、コンテンツ制作体制の構築、出演者交渉、広告の営業など、やるべきことが盛りだくさんですが、新しいビジネスの可能性を感じつつ、好きな仕事ができるという充実感にわくわくしています。

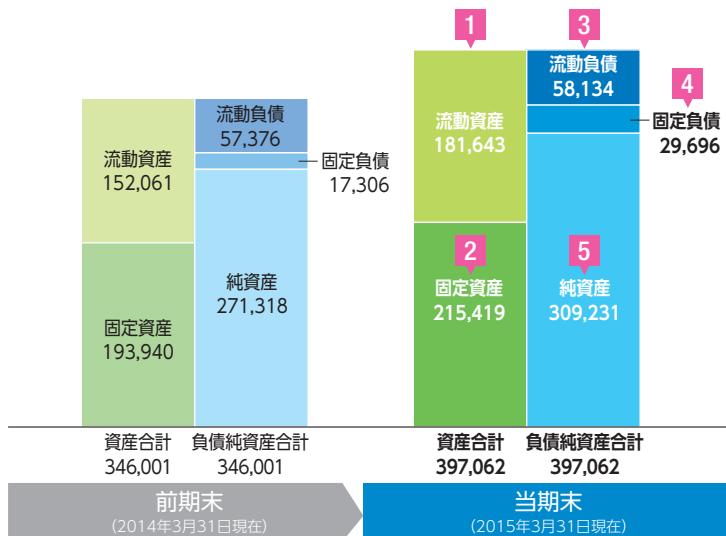
立ち上げからまだ数ヶ月ですが、おかげさまで好スタートを切ることができました。これからもより多くの方に見ていただけるサイトにするべく頑張っています。お時間ございましたら、ぜひ一度「BITE」をご覧ください。



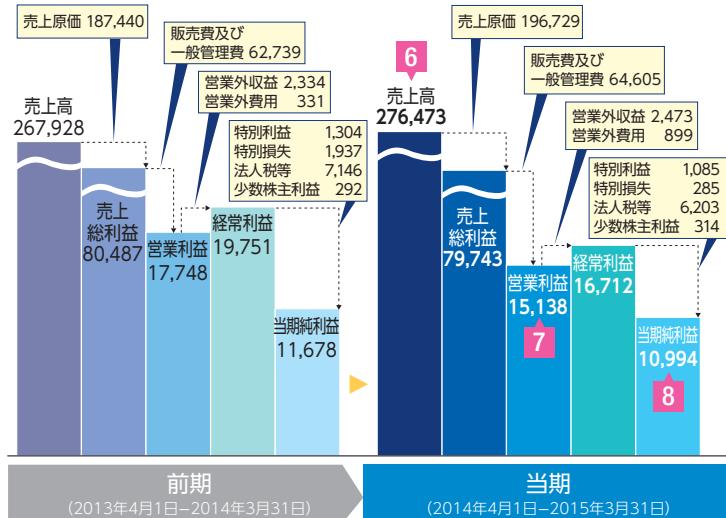
総合ビジネス局
デジタル開発部
松尾 健司

連結財務諸表

□ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



□ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

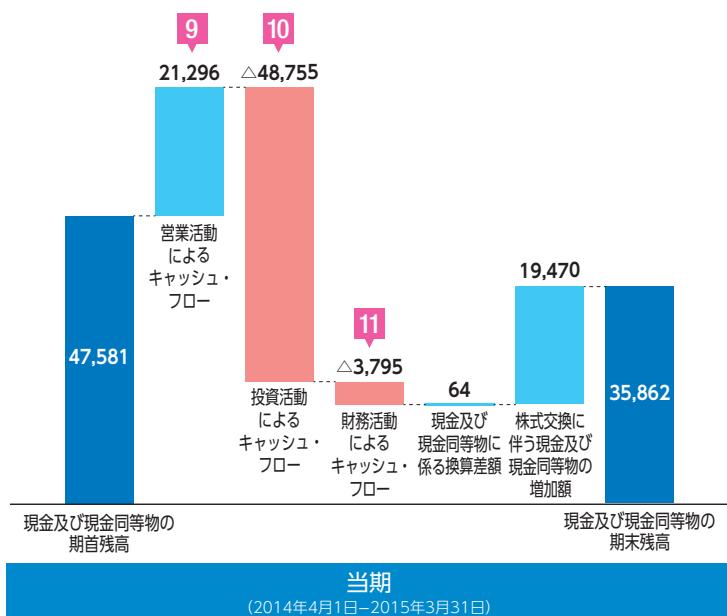
連結貸借対照表

- 1 流動資産** 有価証券が257億4百万円増加したことなどにより、前期末に比べ295億8千2百万円の増加となりました。
- 2 固定資産** 時価の上昇などにより、投資有価証券が170億8千2百万円増加したことなどにより、前期末に比べて214億7千8百万円の増加となりました。
- 3 流動負債** 未払費用や未払金が減少したものの、未払消費税等の増加により「その他」が41億9千3百万円増加したことなどから、前期末に比べて7億5千8百万円の増加となりました。
- 4 固定負債** 繰延税金負債が98億1百万円増加したことなどにより、前期末に比べて123億9千万円の増加となりました。
- 5 純資産** 前期末に比べ379億1千2百万円増加しました。この結果、自己資本比率は76.7%となりました。

連結損益計算書

- 6 売上高** 前期にあった所属アーティストの全国ツアーの反動で音楽出版事業が減収となったものの、(株)ビーエス朝日の連結子会社化などの影響により増収となり、過去最高となる2,764億7千3百万円(前期比+3.2%)を記録しました。
- 7 営業利益** 「2014 FIFA ワールドカップ ブラジル」などにより制作費が増加し、減益となったテレビ放送事業や、音楽出版事業の影響などにより、26億1千万円(前期比△14.7%)の減益となりました。
- 8 当期純利益** 前期にあった特別損失「送信所移転対策損失」が当期にはないことなどから、6億8千3百万円(前期比△5.9%)の減益となりました。

□ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

連結キャッシュ・フロー計算書

9 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が36億8千9百万円増加したものの、売上債権の増減額が41億4千3百万円、仕入債務の増減額が41億2千3百万円増加したことなどから、前期に比べ収入額は67億9千万円増加しました。

10 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の償還による収入が246億円増加したものの、有価証券の取得による支出が489億2千5百万円増加したことなどから、前期に比べ支出額は304億5千5百万円増加しました。

11 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が増加したことなどから、前期に比べ支出額は5億5千1百万円増加しました。

ホームページのご案内

<http://www.tv-asahihd.co.jp/contents/IR/index.html>

テレビ朝日 IR 検索

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のためのさらに詳しい情報をご覧いただけます。



株主様向け優待のお知らせ

株主様向け「題名のない音楽会」「本社ビル」見学のご案内

当社では、株主様を対象に、①「**題名のない音楽会**」の収録見学／② **本社ビル施設の**見学会を開催いたします。ご希望される株主様は、実施要領をご一読のうえ、下記の所定の手続きをおとりください。

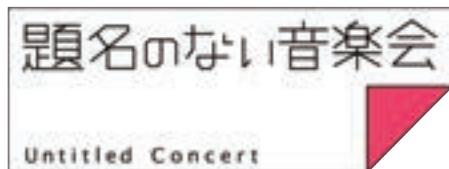
なお、施設規模・日程に限りがあり、ご希望される株主様からの多数の応募が予想されるため、**原則として、抽選とさせていただきます。**

対象となる株主様

平成27年3月31日(火)の株主名簿に記録された株主様

お申し込み方法

- (1)「題名のない音楽会」の収録見学・本社ビル施設の見学会のうち、ご希望のお申し込み用紙を切り取り、必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- (2)前述のとおり、**原則として、抽選とさせていただきます**うえ、当選された方に、見学当日の受付方法等を記載しました書面を送付いたします。**(当該書面の送付をもって、抽選結果の発表にかえさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。)**



毎週日曜 あさ9:00放送

実施要領

①「**題名のない音楽会**」の収録見学

時間 18:00集合 21:00終了 ※予定

A **開催日** 平成27年11月13日(金)
場所 東京オペラシティ (東京都新宿区西新宿3-20-2)
お申込み〆切 平成27年10月2日(金)(当日消印有効)

B **開催日** 平成27年12月14日(月)
場所 東京オペラシティ (東京都新宿区西新宿3-20-2)
お申込み〆切 平成27年11月2日(月)(当日消印有効)

C **開催日** (平成28年1月に開催予定)
場所 (都内会場を予定)
※詳細は後日、当社HP (<http://www.tv-asahihd.co.jp/>)にてお知らせいたします。

※見学対象・施設等の関係で誠に恐縮ですが、ご見学は、株主様1名につき、ご本人様と同伴者(小学校1年生以上)1名様(計2名様)のみに限らせていただきます。

※収録2本分をご見学いただけます。集合・終了時間は収録の都合により変更となる場合がございます。

② 本社ビル施設の見学会

時間 13:30 開始 ※所要時間は1時間半程度

開催日		お申し込み〆切 (当日消印有効)
平成27年 9月	9日(水)	8月18日(火)
	10日(木)	
10月	7日(水)	9月15日(火)
	8日(木)	
11月	18日(水)	10月27日(火)
	19日(木)	
12月	9日(水)	11月17日(火)
	10日(木)	
平成28年 1月	20日(水)	12月21日(月)
	21日(木)	
2月	17日(水)	1月26日(火) (平成28年)
	18日(木)	

※見学は、スタジオおよびニューススタジオセットや若干の関連施設が対象となり、見学時間は1時間程度です。(移動時間等を含め、全体の所要時間は1時間半程度となります。なお、番組収録の見学はございません。)

※見学対象・施設等の関係で誠に恐縮ですが、ご見学は、株主様1名につき、ご本人様と同伴者(小学校5年生以上)1名様(計2名様)のみに限らせていただきます。



見学ガイドが館内をご案内し、テレビ局の設備や仕事について、わかりやすく解説いたします。



ご記入に際しての注意事項

- ※1 お申し込み用紙は、別紙にて同封されています。
左記の「実施要領」をご参照のうえ、必要事項をご記入ください。
- ※2 転居や住居表示の変更で、住所が変更となった場合は、新しい住所をご記入ください。
- ※3 **株主番号を必ずご記入ください。**株主番号は同封の「配当金計算書」の右上に印字されています。

いただいた個人情報は、株主様向け見学の抽選・ご連絡・ご案内のためにのみ利用させていただきます。また、アンケートのお答えは、個人情報と切り離した形で利用させていただきます。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス 株主様ご優待

通話料無料
お問合せ
専用番号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/29～1/3は除く

会社情報 / 株式情報

■ 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設立 昭和32年11月1日
資本金 366億4,280万円
本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

■ 役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役会長兼CEO	早河 洋	取締役	岡田 剛一
代表取締役社長	吉田 慎一	取締役	菊地 誠一
専務取締役	福田 俊男	取締役	脇阪 聡史
常務取締役	藤ノ木 正哉	取締役	渡辺 雅隆
常務取締役	武田 徹	取締役(監査等委員)	数内 宜尚
取締役	亀山 慶二	取締役(監査等委員)	奥村 萬壽雄
取締役	角南 源五	取締役(監査等委員)	弦間 明
取締役	平城 隆司		
取締役	川口 忠久		
取締役	篠塚 浩		

(注) 岡田 剛、脇阪聡史、渡辺雅隆、奥村萬壽雄および弦間明の各氏は、社外取締役であります。

■ 株式状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	26,380名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,951,840	24.83
東映株式会社	16,400,200	15.11
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.63
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,030,000	3.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,806,100	3.51
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.07
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,446,300	2.25
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.12
株式会社リクルートホールディングス	2,100,000	1.93
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,922,700	1.77

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本公司は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本公司は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <http://www.tv-asahihd.co.jp/>